

自宅退院する脳卒中患者さんへの再発予防指導の実施状況に関する調査のお知らせ

脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）は再発を繰り返しやすい疾患であり、再発によって重症化し介護量や死亡率が上昇するといわれています。そのため、脳卒中を再発しないために退院後も生活習慣や原因となる病気の管理が必要となります。そこで、私たちは、自宅退院する脳卒中患者さんに対して、再発予防の指導に取り組んでいます。

この度、小倉記念病院総合6階病棟では、自宅退院する脳卒中患者さんがどのくらい再発危険因子をもっているのか、それに対して看護師がどのような内容の再発予防指導を行っているのかを過去の診療録を振り返り調べることにしました。

この調査により、再発予防指導の内容や方法を検討し、再発予防指導が効果的に実施していくための資料として役立てたいと思っております。

【研究の対象・期間・内容】

小倉記念病院において2018年4月から2018年7月の間に脳卒中でSCU・総合6階、5階から自宅退院した患者さんを対象としています。調査対象期間内に入院した患者さんの診療録から、既往歴、生活歴（食事、運動、喫煙、飲酒習慣）などについて情報を得て、再発予防指導の実施状況を統計学的に解析を行います。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先へご連絡下さい。

【個人情報の管理について】

個人情報漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化など厳格な対策をとり、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、本研究の結果の公表（学会や論文等）の際には、個人が特定できる情報は一切含まれません。

【連絡・問い合わせ先】

小倉記念病院
総合6階病棟 看護師 秀田佳恵
〒802-8555
北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号
電話 093-511-2000(代)

